

令和 3年度

事務事業評価表 ( 令和 2年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 3 年 4 月 1 日

事務事業名: 県理科作品展桜川市展企画事業. 事業区分: 新規/継続. 担当: 020101000156. 所属課: 教育指導課. 課長名: グループ. 担当者名: 教育指導グループ. 事業期間: 単年度繰返し (平成17年度~).

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要. ①事務事業の概要 (事務事業の全体像): 児童生徒が自然の事物・現象について興味と関心を高めるとともに、目的意識をもって観察、実験などを行う。②担当者が行う業務の内容・やり方・手順: 会場借用、会場作成、搬入、審査、展示、搬出、会場後始末、出品者への賞状配付等や作品展の案内、会場監視、作品の説明等県理科展の運営に寄与する。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移. ①手段: 9月上旬 校内理科展 (科学研究作品、発明工夫作品). ②対象: 桜川市の児童生徒. ③意図: 児童生徒の理科学習への意欲を高める.

(3) 投入量 (事業費) の推移. 01年度 (実績), 02年度 (実績), 03年度 (計画). 期間限定総投入量: 0.

02年度事業費 実績 (千円) | 03年度事業費 予算 (千円). 18 負担金補助及び交付金 42 | 18 負担金補助及び交付金 42. 合計 42 | 合計 42.

事務事業名	県理科作品展桜川市展企画事業	事務事業No.	20101000156	所属課	教育指導課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
夏季休業中などの長期にわたる科学的な学習の成果を発表する機会とする。また、茨城県展、県西地区展に桜川市の代表として出展作品を決定する。作品数の多少の変化はあるが、概ね例年どおりである。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
参観者の数から作品展は好評であると言える。また、県西地区展や県展で桜川市代表の作品は好結果を残している。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 意図の「児童生徒の理科学習への意欲を高める。」ことにより、結果の「児童生徒の理科学習への意欲を高め、豊かな心の育成に努める。」ことは施策の学校教育の充実に結びつく。
有効性	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 桜川市児童生徒の理科学習の発表を通して、理科学習への意欲を高めさせることは市教育委員会の責務である。
効率性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 桜川市理科研究作品展(科学研究作品、発明工夫作品)を開催している。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 児童生徒の理科学習への意欲を高め、豊かな心の育成に努めることができなくなる。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 統廃合の可能性はない。
	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理科作品展開催に経費削減の余地はない。
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 桜川市の児童生徒を対象とした事業であり負担の公平性を求めるものでない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																				
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	桜川市内小中学校において、児童生徒の理科学習の成果を、各作品展において発表することは、理科学習への意欲を高めさせ、理科学習への関心や理解を深めており、成果を上げている。今後も事業の継続と予算措置を要望していく。																				
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上維持	○	X	X	低下	X	X	X
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上維持	○	X	X																		
	低下	X	X	X																		
		(6) 事務事業優先度評価結果																				
		成果優先度評価結果	④																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>